

工業外国語 (Technical English)		4 年・前期・2 学修単位（α）・必修 機械工学科・担当 坂本 雅彦	
〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (2)	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 D-1（80%），C-2（20%）	〔JABEE 基準〕 (d-2a)，(f)	
〔教育方法等〕 概要： 国際化社会である現在においては、各種の情報を通じて科学・技術情報を正しく理解し、かつ正確に発信するための工業技術英語の習得が必要不可欠となっている。本講義では、工業技術英語分野における使用頻度の高い表現や語句、さらには文法を理解・習得することを目的に、工業英検 3 級・準 2 級相当の能力を育成するとともに初心者レベルの技術英語文献等が読解できる能力を身に付けることを主な目標とする。 授業の進め方と授業内容・方法： 前半においては、工業英語検定試験の過去問題を教材として活用し、技術英語について広く理解する。後半においては、機械工学分野の文献読解や平易な英作演習を通して使用頻度の高い語彙・語句を使用できるよう学習する。 注意点： 関連科目 機械工学演習 I，機械工学実験 I などとの関連が深い。 学習指針 適宜，プリントを配布する。 授業中には辞書（必携のこと）を活用して不明な単語・語彙の意味・用法を十分に調べた上でノートに記載・暗記に努めること。 自己学習 授業以外に工業英語検定試験（準 2 級や 3 級），実用英語技能検定，TOEIC 公開，TOEFL などの資格・検定試験を積極的に受験し，自身のスキルアップに努めること。			
〔教科書〕 適宜，プリントを配布する。 〔補助教材・参考書〕 文部科学省認定工業英検 4 級問題集 日本能率協会マネジメントセンター 日本工業英語協会 文部科学省認定工業英検 3 級問題集 日本能率協会マネジメントセンター 日本工業英語協会 工業英語ハンドブック 日本能率協会マネジメントセンター 日本工業英語協会 など			
〔到達目標〕 1. 工業英語検定試験 3 級・準 2 級レベルの語彙能力 2. 機械工学関連分野の語彙・表現方法を習得し，平易な技術文章の理解ができる。			
〔評価割合〕 定期試験成績（60％）に課題演習・レポート点（20％），授業態度点（ノート作成・公的試験受験等）（20％）を含めて総合評価する。			

授業計画

	週	授業内容・方法	到達目標	自己評価*
前期	1 週	工業外国語の概念	本講義の意義と目的を説明することができ、例文を用いて技術英文の表現方法が理解できる。	
	2 週	工業英検 4 級 演習	工業英検 4 級レベルの語彙力を理解し、使用できる。 小テストで確認し、不十分な点を解消する。	
	3 週	工業英検 3 級 演習	工業英検 3 級レベルの語彙力を理解し、使用できる。	
	4 週	工業英検 3 級 演習	工業英検 3 級レベルの語彙力を理解し、使用できる。 小テストで確認し、不十分な点を解消する。	
	5 週	工業英検準 2 級 演習	工業英検準 2 級レベルの語彙力を理解し、使用できる。 小テストで確認し、不十分な点を解消する。	
	6 週	工業英検 2 級 演習	工業英検 2 級レベルの語彙力の一部を理解し、使用できる。 小テストで確認し、不十分な点を解消する。	
	7 週	前期中間試験	授業内容を理解し、試験問題に対し正しく解答することができる。	
	8 週	試験返却・解答	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。	
	9 週	材料力学分野の読解	英語で記載された材料力学に関する教科書レベルの内容が理解できる。	
	10 週	数式・図・表の読み方	数式、図・表などの読み・表現を理解し、実験レポートなどを作成する際に活用できる。	
	11 週	流体力学分野の読解	英語で記載された流体力学に関する教科書レベルの内容が理解できる。	
	12 週	熱工学分野の読解	英語で記載された熱工学に関する教科書レベルの内容が理解できる。	
	13 週	情報・電気分野の読解	英語で記載された情報・電気分野に関する教科書レベルの内容が理解できる。	
	14 週	英作の演習	名詞と冠詞、代名詞（人称・指示・不定・関係代名詞）などの用法を中心に平易な短文の英作ができる。	
	15 週	前期末試験	授業内容を理解し、試験問題に対し正しく解答することができる。	
	16 週	試験返却・解答	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。	

* 4 : 完全に達成した, 3 : ほぼ達成した, 2 : やや達成できた, 1 : ほとんど達成できなかった, 0 : まったく達成できなかった。